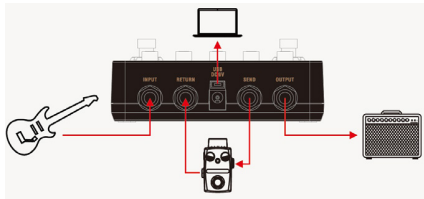


接続



1. AMP をアンプ入力につないだ時、高域の出すぎやサウンドに満足できない場合は、アンプのエフェクトリターン入力を試してください。
2. ミキサーやオーディオインターフェースに接続する際は、出力ボリュームの操作に気をつけてください。出力レベルを操作して、ミキサーやオーディオインターフェースの入力段が歪まないようにしてください。

ディスプレイ

電源を接続するとディスプレイに下のような表示が現れます。



- 1 - 現 bank/patch ナンバー
- 2 - キャビネットシミュレーションがオンの場合、スピーカマークが表示されます。
- 3 - 現パッチで使用しているアンプモデルが表示されます。

Patch/Bank の選択

▽ / △ フットスイッチを操作するとパッチが変更できます。△ フットスイッチを押し続けると、パッチは A1, A2, A3, ..., B5、→ A1 と順に変わります。▽ フットスイッチではその逆に順次変わっていきます。



エディット

1. パラメーターの変更

本体の各コントロールノブでパラメーターが変更できます。ディスプレイに設定値が表示されます。



- 1 - 現設定値 (表示は vol/ ボリューム)
- 2 - 保存されている設定値 (PREV. = Previous value/ 前設定値)

2. アンプを選択する

+/- ボタンを使用して他のアンプを選びます。



ディスプレイ表示は図のように反転し、現パッチがエディット状態であることを示します。

3. キャビネットシミュレーションを on/off する。

CAB SIM ボタンでキャビネットシミュレーションを on/off します。on ではスピーカアイコンが表示されます。自動的にアンプに合わせたキャビネットシミュレーションが選択されています。



注意: 変更したセッティングを保存する前にパッチを変更すると、『変更』は保存されません。

保存

SAVE ボタンを押すと、以下のスクリーンが表示されます。



+/- ボタンで保存先を選択します。SAVE ボタンを押し保存を確認します。いずれかのフットスイッチを押すと、保存がキャンセルされてエディット状態へ戻ります。

バイパス

両 ▽ / △ フットスイッチを同時に押します。バイパス時はコントロールノブの LED が消えます。

BYPASS

Note: この状態のユニットは、電源再投入時にもバイパス状態です。

主な仕様

- XTOMP のテクノロジーを採用したファミリーモデル
- コンパクトな 2 スイッチング機能付きアンプシミュレーターペダル
- HOTONE 独自の CDCM モデリングによるリアルなブレイングエクスペリエンスを約束するエミュレーション
- デュアル DSP プラットフォームが導く高いサウンドクオリティー
- 110dB S/N 比を実現した 24-bit A/D/A 変換
- 伝説のアンプを再現した 16 種の CDCM エミュレーション（on/off 可能なキャビネットモデリング）◦ エフェクトループ
- 10 プリセット (2 banks x 5 presets)
- 白色 OLED ディスプレイを採用
- 5 LED 付きコントロールノブ
- 9V DC 電源駆動
- ファームウェアのアップデート、アルゴリズムのロード&マネージメントが可能な Free PC/Mac ソフトウェア等が可能な USB ポートを装備。

スペシフィケーション

アンプ：16 種類
パッチ数：10 (2 バンク x 5 パッチ)
AD/DA：24-bit A/D/A
サンプリングレート：48kHz
周波数特性：20 Hz-20 kHz
S/N：Up to 110 dB
入力インピーダンス：1M Ω
出力インピーダンス：100 Ω
電源：DC 9V センターマイナス
消費電流：200 mA 以上
サイズ：121mm(D)x72mm(W)x47mm(H)
重量：340g

安全のために

ご使用になる前に、本機の性能をトラブルなく十分に発揮するため、以下の説明を必ずお読み下さい。

警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- ・湿度の非常に高い場所
- ・砂やほこりが多い場所
- ・台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水の掛かり易い場所
- ・空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

【電源について】

本機は、DC9V アダプターをご利用下さい。

- ※ 9V 以上の電源は絶対に接続しないで下さい。
- ※ センターマイナス以外の極性の電源アダプターや、AC 電源を接続しないで下さい。

Binary Editor



ソフトウェアのダウンロード:

<http://allaccess.co.jp/hotone/binaryamp/>

USBケーブルを使用してコンピューターと接続し、プリセット管理やパラメーター設定がPC (or Mac) 上で行えます。
PC上で操作したプリセットはコンピューターに保存できます。それらのプリセットを本体へインポート/エクスポートも可能です。さらに、プリセットのエフェクト(モデル)の説明も表示されますので、エミュレーションのベースになった機種名、各コントロールの詳細が確認できます。

アンプモデル リスト

No.	Name	Based On	Cab Sim (Not shown in Binary Amp)
1	FRED HBE	Friedman BE100	FRED 4x12
2	RECT LEAD	Mesa/Boogie Dual Rectifier	RECT 4x12
3	CHEF CLN	Matchless Chieftain	CHEF 2x12
4	USA 2C+	Mesa/Boogie Mark II C+	RECT 4x12
5	DARK DUO	Fender '65 Twin Reverb	DARK 2x12
6	DIZZ VH	Diezel VH4	DIZZ 4x12
7	BASS CLN	Fender '59 Bassman	BASS 4x10
8	AREA 51	Peavey 5150	AREA 2x12
9	BRIT J45	Marshall JTM45	BRIT 4x12
10	SAGA 120	ENGL Savage 120	SAGA 4x12
11	BRIT 800	Marshall JCM800	BRIT 4x12
12	TWD LUX	Fender Tweed Deluxe	TWD 1x8
13	SOLO 100	Soldano SLO 100	SOLO 4x12
14	VOXY T30*	Vox AC30 Top Boost	VOXY 2x12
15	OGRE A30	Orange AD30	OGRE 4x12
16	JAZZ TWIN	Legendary Jazz Clean amp	JAZZ 2x12

株式会社HotoneJapan

お問い合わせ：

一般のお問い合わせ：ホームページ内の「お問い合わせ」ページよりご連絡ください。
商品の修理について：ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。